



2023年7月28日

各位

会社名 日華化学株式会社  
代表者名 代表取締役社長 江守 康昌  
(コード番号 4463 東証プライム・名証プレミア)  
問合せ先 取締役執行役員 管理部門長  
澤崎 祥也  
(TEL 0776-24-0213)

## 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2023年2月10日に公表いたしました2023年12月期通期連結業績予想につきまして、下記の通り修正することとしましたのでお知らせいたします。

### 記

(1) 2023年12月期通期連結業績予想数値の修正(2023年1月1日～2023年12月31日)

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	52,000	2,700	2,800	1,700	107円78銭
今回修正予想(B)	51,000	2,100	2,400	1,300	82円34銭
増減額(B-A)	△1,000	△600	△400	△400	—
増減率(%)	△1.9%	△22.2%	△14.3%	△23.5%	—
(ご参考) 前期通期実績 (2022年12月期)	50,627	2,628	3,132	2,114	134円08銭

(2) 修正の理由

2023年12月期通期の連結業績予想につきましては、下記の理由により前回発表予想に対し減少となる見込みであります。

- ・2023年12月期上期(第2四半期累計期間)において、特に化学品事業における欧米アパレル在庫調整、並びにコロナ急拡大に伴う中国の低稼働の影響による需要減が想定以上に長引いたことなどにより、減収・減益となりました。特に利益面では、高収益製品販売不調による減益幅が大きくなりました。
- ・2023年12月期下期(第3四半期及び第4四半期)においては、化学品事業では欧米アパレル市況の回復が見込まれ需要も上期に比して増加する見込みであり、化粧品事業では上期に新発売した新商品による売上高増が見込まれるものの、上期の減収・減益をカバーするには至らない見込であります。

(注) 本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績などは、今後さまざまな要因により予想数値と異なる場合があります。

以上